

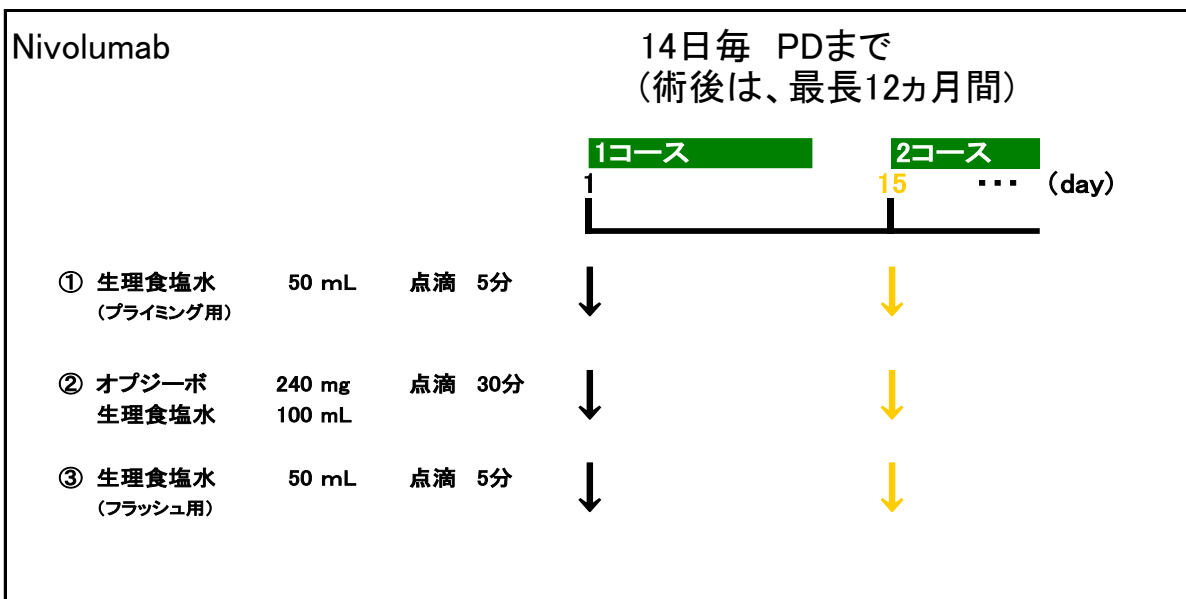
登録日 2020/3/31

登録番号 Eso011

腫瘍名 食道がん

申請医師 消化器外科

投与スケジュール



注意事項

- ・適応:
 - ① 治癒切除不能な進行・再発の食道がん(2次治療以降)
 - ② 食道がんにおける術後補助療法(術前補助療法によりpCRが認められなかった患者)
- 【調製上及び使用上の注意】
 - ・希釈後の最終濃度は0.35mg/mL以上が必要 (総液量は60mL以上が必要) 振とうにより凝集体が認められることがあるため、激しく振ったり、攪拌しない。
 - ・インラインフィルターを使用(0.2または0.22 μ m)
 - ・同一の点滴ラインで他の薬剤を併用同時投与しないこと。
 - ・CVポート等から投与する際、希釈後の最終濃度が1.9mg/mL以上になるよう調製し、投与時にこれ以上の濃度に希釈しないこと。薬剤投与前後にフラッシュを行うこと。
 - ・血管外漏出リスクは非炎症性に相当。
 - ・免疫チェックポイント阻害薬の運用フローを参照。

参考文献

- 1) オプジーボ点滴静注 添付文書 2020年2月改訂版(術後適応は、2024年2月改訂版を参考にした)
- 2) ニボルマブ 最適使用推進ガイドライン 令和2年2月作成
- 3) Lancet oncol, 20, 1506–1517 (2019). A12:F30A2:F30A1:F30A26A23:F30